

令和6年度 金山町総合教育会議

日 時 令和6年11月28日(木) 9:00～

場 所 開発センター 1階会議室

1 開 会

- 2 あいさつ 町 長 押 部 源二郎
 教育長 押 部 秀 隆

3 議事録署名人選出

4 議 事

(1) 学校教育について

- ① 全国学力・学習状況調査及びふくしま学力調査結果
- ② 児童生徒数の推移
- ③ 来年度の町講師、支援員の確保

(2) 社会教育・文化財保護関係について

- ① 中丸城跡登山道の整備
- ② 旧五十島家住宅屋根葺き替え
- ③ 自然教育村会館活用・活性化事業

(3) 川口高校・若桐寮・学校寮の運営について

- ① 令和6年度の入学状況
- ② 若桐寮・学校寮の運営

(4) かねやま小学校の開校に向けて

- ① 金山町立小学校統合準備委員会の進捗状況
- ② 各部会の進捗状況
 - 学校経営部
 - 教育課程編成部
 - 備品・環境整備部
 - 生徒指導・安全部
 - 式典・PTA関係部

(5) その他

5 その他

6 閉 会

教育委員会の現状と課題について

1 学校教育について

- (1) 全国学力・学習状況調査及びふくしま学力調査結果
別紙参照(公開しない)

- (2) 児童生徒数の推移 (令和6年11月20日現在での推定)

【小学校】

学年/年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10
1学年	5	6	11	4	4	6
2学年	4	4	6	11	4	4
3学年	9	4	4	6	11	4
4学年	2	8	4	4	6	11
5学年	8	2	8	4	4	6
6学年	0	8	2	8	4	4
合 計	27	32	35	37	33	35

【中学校】

学年/年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10
1学年	5	0	8	2	8	4
2学年	9	5	0	8	2	8
3学年	4	10	5	0	8	2
合 計	18	15	13	10	18	14

- ① 今後も少子化の傾向は、続いていくと思われる。
- ② 来年度の学級数について
かねやま小…(1年・2年・3.4年・5.6年)の複式2学級、単式2学級
金山中……単式2学級
金山中は、令和6年度の入学生0となり、2学級になる。その場合、教職員の引き上げ等があるので、対応が必要である。
- ③ 部活動の地域移行について
休日などの部活については、部活指導員を充てることができるようにする。
男女ともに部活動はバドミントン部だけ。
生徒が少なくなくても、合唱や駅伝には取り組ませたい。

- (3) 来年度の町講師、支援員の確保

- ① かねやま小では3年生、4年生、金山中では2年生に特別な支援を要する児童生徒がいる。特別支援学級対象の児童であるとの指導医の見解がある。また、保育所からも

支援を要する子が上がっており、今後の入学児童の中にも、該当者が出てくる。

今後を見通して、特別支援学級の設置も考慮していかななくてはならない。現状では、設置は難しいことから、支援員の配置を考えている。

- ② 本年度は、支援員3名(パートタイム)、町講師5名(フルタイム2名、パートタイム3名)で対応している。来年度は、支援を要する児童が入学するので今年度以上の支援員の増員が必要なのでお願いしていきたい。

2 社会教育・文化財保護関係について

- | | |
|---------------------|------|
| (1) 中丸城跡登山道の整備 | 別紙参照 |
| (2) 旧五十島家住宅屋根葺き替え | 別紙参照 |
| (3) 自然教育村会館活用・活性化事業 | 別紙参照 |

3 川口高校・若桐寮・学校寮の運営について

- (1) 令和6年度の入学者の状況について 別紙参照(学校案内)

会 津	31名	会津以外の県内	17名	茨城県	4名	埼玉県	5名
千葉県	4名	東京都	1名	新潟県	2名	宮城県	3名
岩手県	1名	岐阜県	1名	大阪府	1名	合計	70名

生徒数の確保が難しい状況である。金山町からの進学が数人となっている。他町村から大部分を集めなくてはならない。経済的な負担は大きい。川口高校存続のための支援が続けられるよう進めている。

今後も、「地域みらい留学プロジェクト」の推進や学校のコミュニティスクールの取り組みを後押ししながら、生徒数の確保に向けて、取り組んでいくことが大切である。

(2) 若桐寮・学校寮の運営

(若桐寮)

	男	女	計
1年生	9	12	21
2年生	8	6	14
3年生	3	4	7
合 計	20	22	42

(学校寮)

	男	女	計
1年生	4	0	4
2年生	3	0	3
3年生	2	0	2
合 計	9	0	9

○ 学校寮の問題について

県寮の3階の女子寮生フロアーと厨房修繕について話し合いを進めている。

○ 次年度の入寮について

若桐寮定員:男女共22名 入寮可能生徒数9名(男子5名・女子4名)

学校寮定員:男女共14名 入寮可能生徒数21名(男子7名、女子14名)

以上の人数まで大丈夫。

4 かねやま小学校の開校に向けて

(1) 金山町立小学校統合準備委員会の進捗状況

回数	月 日	曜日	協 議 内 容
1	10月24日	火	○委任状交付 ・委員長 大越 久(横田小学校長) ・副委員長 伊藤 敬(金小 P 会長)を選出 ・金山小横田小連絡会の設置について ・協議事項と今後の日程について ・月2回程度実施して、時間は1時間半程度とする
2	11月 8日	水	・学校のビジョンについて(児童・保護者にアンケートを実施し意向を調査し、ビジョンに反映させる) ・校名について(どのような方法で決定するか、協議)
3	11月28日	火	・学校ビジョンに関するアンケート
4	12月19日	火	・校名募集、校歌・校章について
5	1月 15日	月	・校名募集、校歌・校章について ・横田小学校校舎見学の実施について
6	2月 7日	水	・統合小学校名称決定のスケジュール ・校歌・校章について ・統合小学校の開校に向けて ・統合に向けての作業ロードマップ
7	3月 4日	月	・統合小学校名称募集の結果について ・統合小学校 学校経営・運営ビジョン(案)について
8	3月19日	火	・統合小学校の名称について ※「かねやま小学校」に決定
9	4月 26日	金	○委嘱状の交付 ・委員長 矢部 吉彦(金山小学校長) ・副委員長 滝沢 康成(横田小 P 会長)を選出 ・これまでの経過説明 ・協議事項、内容及び日程について
10	5月13日	月	・金山小・横田小連絡会について ・校歌・校章について
11	5月30日	木	・校歌・校章について
12	6月12日	水	・校歌・校章について
13	6月27日	木	・校歌歌詞募集について
14	7月22日	月	・校章について ・かねやま小学校「学校経営・運営ビジョン」(案)について
15	8月20日	火	・かねやま小学校校歌歌詞の募集状況について ・作曲者について

			(「若囃子」を編曲・創作した、目黒健一郎氏に依頼)
16	9月18日	水	○報告 小学校統合に係る補正予算について ・かねやま小学校校歌・校章について ・校章の募集状況について
17	10月7日	月	・校歌歌詞の決定について ・校章について
18	11月11日	月	・校歌・校章について

【今後の予定日】

・12月3日(火)、12月17日(火)

(2) 各部会の進捗状況

○ 学校経営部

- ・学校目標・ビジョンの作成終了。今後の状況で微調整有
- ・校内人事は、今後の組織打合せで検討
- ・学級は、1年、2年、3.4年、5.6年の複式の4学級

○ 教育課程編成部

- ・学校経営・運営ビジョンの達成に向け、各学年や教科について金山小学校で作成中。その後、横田小学校とすり合わせ後に編成

○ 備品・環境整備部

- ・夏休み中に、必要、不必要、廃棄の振り分けを実施
- ・搬出、搬入については、今後教育委員会と相談
- ・令和7年度に以下の施設関係の工事を実施

- ・1階ランチルームを新設(会議室、湯沸室、用務員室)
- ・2階教室に、FF式ストーブ設置
- ・3階図書室整備、FF式ストーブ設置、LED化

○ 生徒指導・安全部

- ・生活のきまりについて統一したものを整理して作成中
- ・通学方法やスクールバスルートを今後教育委員会と相談
- ・運動着は「紺色」に決定。校章を左胸に入れる。採寸は11月末に実施
- ・背中に「KANEYAMA」と名前を入れる

○ 式典・PTA関係部

- ・閉校式の式典は、両行とも3月21日(金)の卒業式後に町主催で実施
- ・閉校記念行事は、現在日程両校で検討中
- ・PTAの規約案はできている。行事等は12月上旬に両校の役員が集まり検討して、来年のPTA総会で承認してもらう

中丸城跡登山道の整備について

事業名	中丸城跡登山道整備事業
事業の内容	中丸城は、鎌倉時代から戦国時代にかけて、約400年間にわたりこの地方を支配した山ノ内氏が敵の来襲に備えて築いた山城であるが、その山頂に至る登山道を整備する。 令和4年度 登山道測量・設計業務委託 令和5年度 中丸城跡登山道整備工事 本年度 中丸城跡登山道整備付帯工事 駐車場整備 A=220.0 m² 案内看板設置 N=7.0 箇所 木製ベンチ設置 N=4.0 箇所 景観伐採 A=1.5ha
事業実施場所	金山町大字横田地内
受注者	山十建設株式会社 代表取締役 滝沢 康成
令和6年度事業 開始・完了予定	(開始) 令和6年6月21日 (完了) 令和7年1月31日
工事請負費	9,900,000 円
補助金額	5,244,000 円 (「歳時記の郷・奥会津」活性化事業補助金)
① 事業を行うことが必要な理由	山ノ内氏は現在の金山町横田を本拠として、一部越後国の魚沼・蒲原も加えた土地を支配していた。只見川流域の活性化のためには歴史的な視点が必要であり、今回の整備事業によって、そのための資源を提供することができる。
② 現状と問題点	現在は地元の人による刈払作業等によって山頂（本丸跡）へのルートが確保されている状況であるが、登山道としては未整備であり、貴重な史跡としての価値を広く発信するには不十分である。
③ 期待される効果と成果目標	奥会津の価値を伝える貴重な資源として、地域内外のつながりを生み出すとともに、地域づくりの人材を育てる効果も期待される。また、整備に合わせて山城跡などの史跡や歴史文化を活かした観光・交流施策を展開するため、関係機関と連携を図りたい。

旧五十島家住宅屋根葺き替えについて

工 事 名	旧五十島家住宅屋根葺き替え工事 ※県指定重要文化財
事業概要	県指定重要文化財「旧五十島家住宅」の所有者「金山町」が「旧五十島家住宅屋根葺き替え」の保存事業を行う。事業を行う上で福島県文化財課を通じて福島県文化財保護審議会委員に修繕方法等のご指導を賜り、既存の材料、工法、形態を前提に全面葺き替えを行い旧五十島家住宅の保存活用を図っていく。 仮設工 A=244.0 m² 屋根工事 A=238.0 m² 棟工事 L=14.0m 床板張替 A=25.7 m²
事業実施場所	金山町大字中川字上居平地内
工 期	(着工) 令和6年 5月14日 (竣工) 令和6年10月31日
受 注 者	新潟県魚沼市須原 1000-1 株式会社 越乃かやぶき 代表取締役 大石 保男
当初予算	40,000,000 円
工事請負費	30,680,100 円
① 事業を行うことが必要な理由	金山町沼沢地区の五十島家が江戸時代中期の宝暦頃に建てた当地民家の標準的住宅を現在の中川地区に移築した旧五十島家住宅は、積雪などの影響で屋根全面が部分的に萱が抜け落ちるなど傷みが激しい状況だった。
② 現状と問題点	積雪の影響などの影響で傷みが激しい。豪雪地帯である当地域の自然環境を考慮すると速やかな葺き替えを要した。しかし、県内に茅葺職人扱う業者がいなく、県外でやっと業者を見つけても人件費・経費が高かった。また、全国的に物価高に伴う材料費の高騰、最低賃金の引き上げや技能を持つ人材の不足などから人件費も高騰したため昨年度は当工事を発注しても入札不調で終わった。
③ 期待される効果と成果目標	旧五十島家住宅の特徴などを広く住民や観光客等に広く周知し、文化財への関心を持っていただくための保存活用を図っていく。

【施工前】



【施工後】



令和6年度 自然教育村会館（旧玉梨小学校）活用・活性化事業

事業の実施にあたっては、新潟大学人文学部の榎本千賀子氏に業務委託し、各事業を教育委員会との協同で進めている。

【事業の概要と目標】

自然教育村会館を町・地域の歴史・文化の継承の拠点であるとともに、地域文化資源を活かした未来志向の創造的活動の場として育てるため、以下の事業を実施する。

【①「過去を知る」ための事業】

○民具整理ワークショップ 9月7日、8日、9日

講師依頼：福島大学 阿部浩一教授 福島県立博物館 山口拓学芸員

会館に保管されている「弥平民具」の採寸や撮影など、目録作成の練習のためのワークショップを開催した。福島大学行政政策学類の学生も講義の一環として参加した。

○会館周辺の周遊ルートづくりを目指す学習会 10月14日、11月10日

会館周辺の「エコ・ミュージアム」モデル地区としての整備、野尻川マップを基に地域文化資源を巡る周遊ルートづくりを目指すまちづくり学習会を実施した。

10月14日は、会館で開催された「玉梨八町温泉まつり」の参加者、11月10日は同じく会館で開催された「おくあいづ金山 手づくりマルシェ」の参加者を対象に実施した。

【②「未来を創る」ための事業】

○まちづくり映画鑑賞会 10月13日

会館を子どもたちの体験活動の場として活用するアイデアの検討のため、「ゆめパのじかん」という先進事例の映画鑑賞会を開催した。

○展示室リニューアルイメージ提示事業 2月中完成予定

会館改修後の具体的イメージを喚起するための弥平民具の模擬展示スペースを作成する。作成の際は、町民の知恵を取り入れての展示計画の策定や、設置・仕上げの際に住民参加型のプログラムとして実施する。

【③「交流する」ための事業】

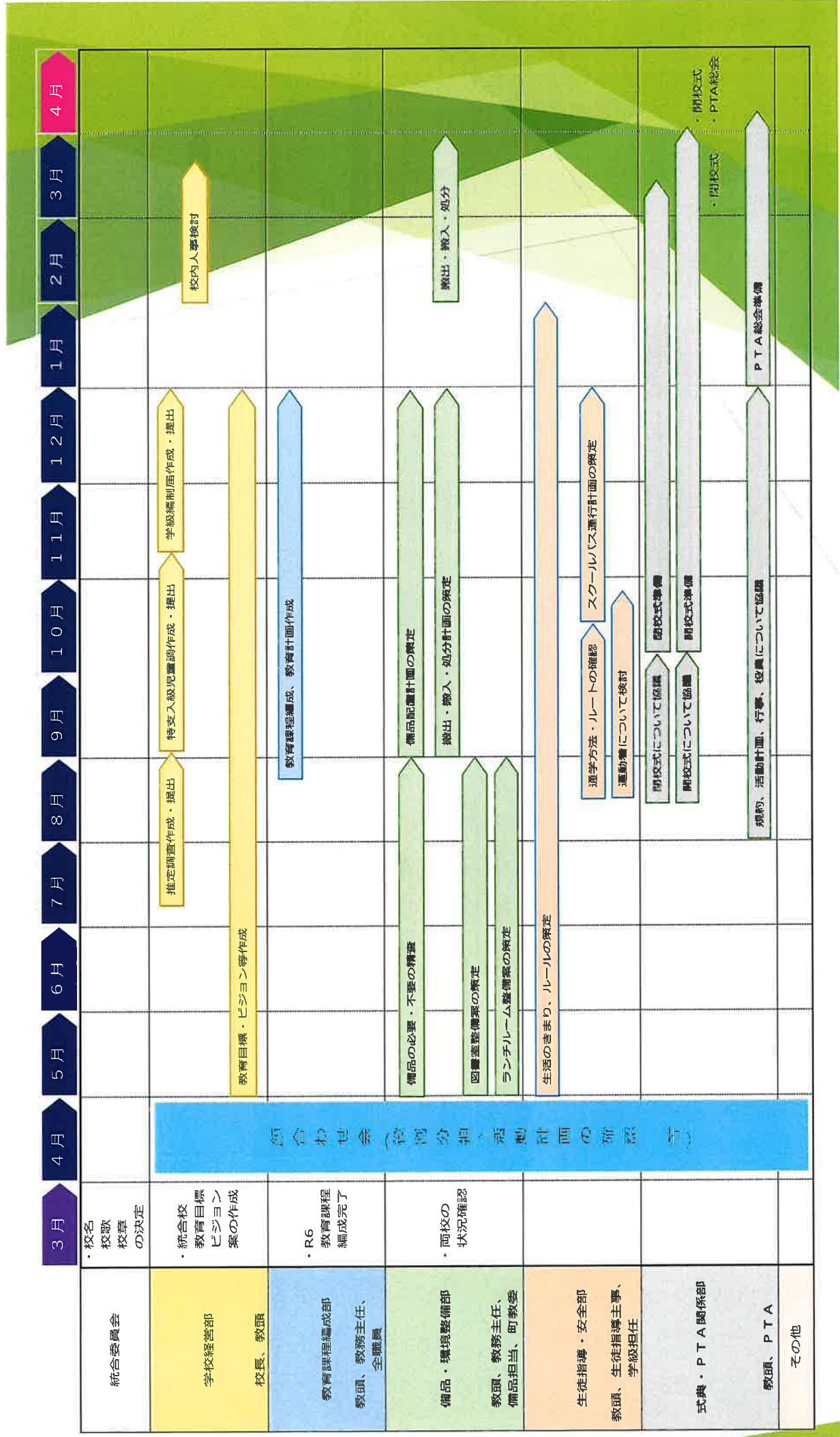
○会館利活用事業支援 11月10日

先述の「おくあいづ金山 手づくりマルシェ」との連携及びマルシェ内での映画上映会（上映作品「夢みる給食」）への支援を実施した。

【④事業報告書作成】

今年度実施した事業内容を基に住民向けの報告書としてパンフレットを作成する。

仕様：A4判・1,000部



なぜ、「読解力育成」なのか②

現状と課題

福島県の子供たちは、家庭における学習習慣が年々身に付いてきており、計画的に家庭学習に取り組む子供の割合は、全国に比べ高い傾向にあります。

また、各学校において、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に取り組んでおり、「授業がよく分かる」と感じている子供の割合も年々増加傾向にあります。

しかし、全国学力・学習状況調査の結果を見ると、学力が低い層（下位25%）が多く、高い層（上位25%）が少ないという課題があります。

福島県の学力向上の取組や、子供たちの努力が結果につながらないのは、なぜなのでしょう。

その原因として一つの仮説が浮かび上がりました。

参考：福島県の教育の現状分析 SWOT分析のバックデータ集

知識を覚えることを中心とした暗記・再生型の勉強方法で、テストに臨んでいるのではないかな？

問題文の中に、解決の仕方まで書いてあるのに正答できない。
問題文の意味を理解していないのではないかな？

教師の話や指示が伝わっていないのではないかな？



そもそも、教科書を正しく読むことができていないのではないかな？

仮説

学力が伸び悩んでいる子供たちは、「文章を正しく読み新たな知識を獲得していくことができないため、暗記・再生型の勉強方法に偏ってしまう」、「問題文を正しく読むことができない」、「授業における教師の説明等が理解できない」など、読解力に課題を抱えているのではないかな？



学習指導要領には、
「児童生徒の発達の段階を考慮し、言語能力、情報活用能力（情報モラルを含む。）、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力を育成していくことができるよう、各教科等の特質を生かし、教科等横断的な視点から教育課程の編成を図るものとする。」
と明記されています。
中央教育審議会では、具体例として以下のことを述べています。

言語能力については、まず、教科学習の主たる教材である教科書を含む多様なテキスト及びグラフや図表等の各種資料を適切に読み取る力を、各教科等を通じて育成することが重要である。

出典：教育課程部会における審議のまとめ 令和3年1月25日【中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会】

リーディングスキルテスト（RST）の活用①

「基礎的・汎用的読解力」とは

- 「基礎的・汎用的読解力」とは、事実や根拠に基づいて書かれた文章（教科書や新聞、説明書など）の意味や内容を正確に理解する力のこと。
- 「基礎的・汎用的読解力」は、リーディングスキルテスト※（以下RSTとする）で測ることができる。小学生から社会人まで、全国で27万人以上が受検している。

学力向上に責任を果たすために、「授業スタンダード」や「家庭学習スタンダード」、ふくしま学力調査等の活用とともに、各教科等の授業で「読解力育成」を視点に授業改善を図ること、また、読解力育成につながる効果的な指導方法を明らかにすることが必要であると考えました。次代を切り拓く子供たちに求められる読解力を「基礎的・汎用的読解力」とし、「基礎的・汎用的読解力」の実態をRSTを活用して調査しました。

※ 提供：一般社団法人 教育のための科学研究所

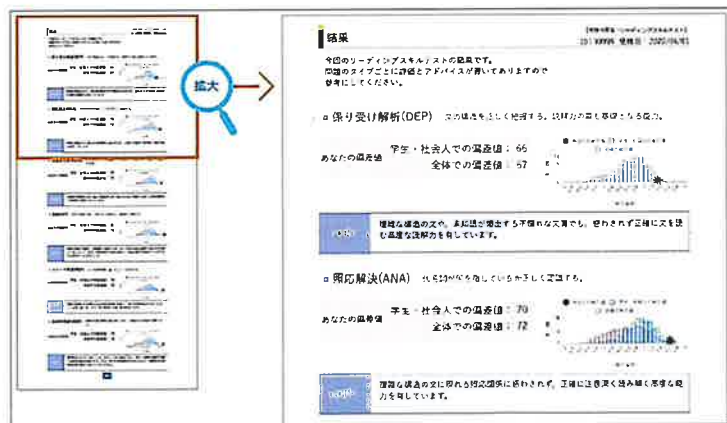
RSTとは

- RSTは、受検者の「基礎的・汎用的読解力」を6つの問題タイプで測定する。
- インターネットに接続されたパソコンやタブレット端末を使って、CBT（Computer Based Testing）として実施する。（約50分）
- 教科書や新聞、辞書、事典等を出典とした200字程度の短文を読み解答する。知識を問うものではない。
- 難易度を設定した問題が出題される適応型テストであり、受検者の読解力に合わせた問題を出題するため、受検者の「基礎的・汎用的読解力」を正確に診断する上で有効である。
- 小説の主人公の気持ちを考える（情緒的読解力）、詩や俳句の鑑賞などは、出題されない。

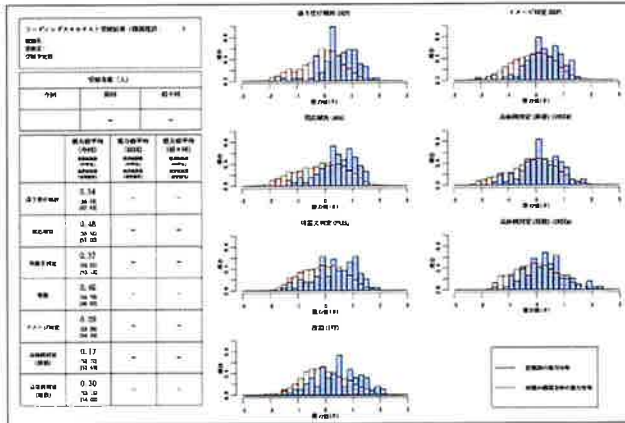


RSTを受検すると何が分かるのですか。

テストが終わると、6つの問題タイプごとの能力値と偏差値、結果に応じたアドバイスが画面上に表示されます。また、受検団体の成績概要も提供されます。能力値0は、「**中学生の能力値の平均**」を表します。



【受検者に提供される結果】



【受検団体に提供される結果】



リーディングスキルテスト（RST）の活用②

RSTの位置付け

（事前的）診断的評価

教育プログラム開始前の学習者の状態を確認することができる。

⇒ クラス分けや関連する特性による児童生徒の分類、授業案の練り直し等に活用

・リーディングスキルテストの実施目的

（１）集団の**全体傾向を把握**する。

→ クラス全体としてどのような活動ができるか／クラス全体に何を説明するか（何を聞くか）

（２）**特徴ある個人の実態を把握**する

→ （例）成績は悪くないのにRST得点が低い

→ 「学習内容を丸暗記しているのではないか」（→研究仮説の構築に役立てる）

東京学芸大学准教授犬塚美輪氏のリーディングスキルフォーラムふくしま2021における講演資料「教科の読解力育成を評価の観点から考える」をもとに作成

RSTのテスト設計

RSTは「診断テスト」です。

その出題方法は、例えるなら“視力検査”と同じです。そのため、RSTと似たような問題を、児童生徒にドリル形式で解かせれば、「基礎的・汎用的読解力が向上する」という種類のテストではありません。



※ RSTでは、正答率ではなく、能力値によって受検者の基礎的・汎用的読解力を測定・診断します。

0.1			
0.2			
0.3			
0.4			
0.5			
0.6			
0.7			
0.8			
0.9			
1.0			
1.2			
1.5			
2.0			

RSTでは、「0.5が読めなければ、より簡単な記号へ（0.5が読めれば、より難しい記号へ）」といったように、問題群の中から受検者の能力に合った問題が自動的に選択されます。

つまづきの原因となる学習スキルの習得不足、基礎的な知識の欠落、気付かない不適切な学習行動といったさまざまな阻害要因が見えてきます。

視力検査と同じように、一人一人の**実態を把握し、個に応じた支援を講ずる**ことが大切です。



リーディングスキルテスト（RST）の活用④

RSTのテスト設計



具体的にどのような問題が出題されるのですか。

6つの問題タイプの例は、以下のとおりです。
一緒に解いてみましょう。



RSTの6つの問題タイプ

【係り受け解析】文章の基本構造を把握する力

以下の文を読みなさい。

天の川銀河の中心には、太陽の100万倍程度の質量をもつブラックホールがあると推定されている。

この文脈において、以下の文中の言葉にあてはまる最も適切なものを選択肢のうちから1つ選びなさい。

天の川銀河の中心にあると推定されているのは（ ）である。

- ☐ 天の川 ☐ 銀河
☒ ブラックホール ☐ 太陽

【照応解決】代名詞などが指す内容を認識する力

以下の文を読みなさい。

火星には、生命が存在する可能性がある。かつて大量の水があった証拠が見つかり、現在でも地下には水がある可能性がある。

この文において、以下の文中の言葉にあてはまる最も適切なものを1つ選びなさい。

かつて大量の水があった証拠が見つかりているのは（ ）である。

- ☒ 火星 ☐ 可能性
☐ 地下 ☐ 生命

【同義文判定】2つの文の意味が同一かどうかを判断する力

以下の文を読みなさい。

義経は平氏を追いつめ、ついに壇ノ浦でほろぼした。

上記の文が与える内容と以下の文が与える内容は同じか、「同じである」「異なる」のどちらか答えなさい。

平氏は義経に追いつめられ、ついに壇ノ浦でほろぼされた。

- ☒ 同じである ☐ 異なる

【推論】基本的な知識と常識から論理的に判断する力

以下の文を読みなさい。

エベレストは世界で最も高い山である。

上記の文に真かたことが正しいとき、以下の文に真かたことが正しいか、「正しい」「まちがっている」「これだけでは「正」できない、のうれから答えなさい」。

エルブルス山はエベレストより低い。

- ☒ 正しい ☐ まちがっている ☐ 判断できない

【イメージ同定】文章と図表などを正しく対応させる力

上記の文の内容を表す図として適切なものをすべて選びなさい。

四角形の中に黒で塗りつぶされた円がある。



【具体例同定】定義を読み、それと合致する具体例を認識する力

以下の文を読みなさい。

2で割り切れる数を偶数という。そうでない数を奇数という。

偶数をすべて選びなさい。

- ☒ 8 ☒ 110 ☐ 65 ☒ 0

（辞書由来の問題と理数系教科書由来の問題の2項目ある）

問題：一般社団法人 教育のための科学研究所